

Comando G

コマンド ジー

妥協なき品質へのこだわりが生む、ピュアでエレガントなガルナッチャ



～コマンド G はスペインで最もエキサイティングなワイナリーの一つ(ワイン・アドヴォケイト)～

かつてのプリオラートのような勢いを感じさせる卓越したガルナッチャの産地、スペインのシエラ・デ・グレドス(シエラ山脈)。この地域で、世界トップクラスのガルナッチャを手掛けているのがコマンド G です。これまでにワイン・アドヴォケイトやジェームス・サックリングで 100 点を幾度も叩き出してきたコマンド G のワインは、その実力の高さから注目を集めています。

コマンド G は、醸造家ダニエル・ゴメス・ヒメネス・ランディとフェルナンド・ガルシアの共同出資により、DO ビノス・デ・マドリッドに 2008 年に設立されました。ふたりの出会いは 2005 年、マドリッド大学で醸造学を学んでいた頃でした。当時は、各自が別々のワインプロジェクトに取り組んでいましたが、醸造哲学やワインの好み的一致で意気投合したふたりは、すぐに共同プロジェクトを立ち上げることを決めました。彼らは、コマンド G を設立するにあたり、ブドウの育つ土地、風景、畑のアイデンティティを反映したワイン造りを目指してきました。この目標を達成する手段として選ばれたのが、グレドス山脈の高地に育つ極めて樹齢の古いガルナッチャの畑です(コマンド G は、ガルナッチャの「G」)。テロワールの忠実な表現に拘って生み出されるコマンド G のガルナッチャは、フレッシュでピュアな果実味が際立つエレガントなスタイルを特徴とします。

ワインは、ブルゴーニュの格付け制度にあやかり、リージョナル(AOC ブルゴーニュに相当)、ヴィラージュ、プルミエクリュ、グランクリュの 4 つに格付けされています。自社畑は、グレドス山脈で最も険しい地形と厳しい自然条件を持つ地域にあり、海拔 900～1200 メートルの地帯の山間の斜面に位置し、畑によっては、極めて急勾配で畑仕事は困難を極めます。耕作は主にラバを使いますが、場所によっては手作業のみで耕作します。樹齢は 60～90 年で、中には接ぎ木をしていない自根の古木もあります。栽培手法は、有機・ビオダイナミ栽培を実践。醸造は手作業主体の伝統的手法を守り、人の手による干渉を最小限に抑えています。

■テクニカル情報■ ワイナリー所在地: スペイン内陸部カスティーリャ・イ・レオン州シエラ・デ・グレドス 栽培: 有機・ビオダイナミ栽培
畑面積: 計 15ha 畑の標高: 900-1200m 樹齢: 60-90 年 収穫: 手摘み 発酵: 100%ホールパンチ、40-60 日間に及ぶ長期間のマセラシオンを行い、木桶を使い天然酵母で自然発酵 熟成: 使い古した小樽、ドゥミ・ミュイ、フードルまで様々なサイズの樽やアンフォラ、コンクリートタンク等を使用。

《ワイン・アドヴォケイト 2025/12/12 掲載記事より抜粋/記者: ルイス・グティエレス》 この年、コマンド G のメンバーとの会話では、植え付けやマルチング(土壌の表面を藁や堆肥などの有機物や石などの無機物で覆うこと)、再生型農業、樹冠を高く保つキャノピー管理が主なテーマとなった。彼らは農場づくりを着実に進め、堆肥を自給するために野菜を育て、ニトリやガチョウを飼育しており、近いうちに羊も迎え入れることになっている。植樹も継続し、ナパタルゴールドでは白ブドウの植栽面積が約 4ha まで広がり、2027 年から本格的な生産に入る見込みだ。コマンド・ジーでは、ワインの同時リリースはもう行っていない。2022 年のワインの一部は、さらに熟成が必要のため、熟成期間を延ばした。プルミエ・クリュは現在 2023 年に切り替わっていて、彼らは、この年を冷涼で雨の多い、フィネスに富んだヴィンテージと評価している。暑く乾燥した 2022 年とは(スタイルが)大きく異なる。2024 年は、4 月 23 日の霜害により、エントリークラス用のブドウの収量が 50%以上減った(特に彼らが拠点を置くビジャヌエバ・デ・アビラでは最大 70%に達した)。一方、主力となる区画には防霜用バーナーを使用したことで、クリュレベル用のブドウの被害は約 20%に抑えられた。2024 年は、2023 年と 2022 年の品質とスタイルを併せ持つ。また、この年は新しいワイナリーで迎える 2 度目の収穫となり、醸造環境は大きく改善された。現在もラインアップの見直しは続いているが、ようやく固まりつつある。ロサス・デ・プエルト・レアルのヴィラージュ赤は生産終了となった。

2022・2023 La Bruja

ラ ブルハ

2024 La Bruja

ラ ブルハ

上代価格 ￥6,000 (税抜)

JAN コード: 4543190305853

上代価格 ￥6,800 (税抜)

JAN コード: 4543190306515

コマンド G のエントリーレベルでありながら、2012 年以来、パーカーポイント 90 点以上の高評価を獲得している実力派ワイン。2022 ヴィンテージより、ヴィラージュからリージョナルワインに変更になりました。最新の 2024 年は、深刻な霜害を乗り越えたブドウ樹の生命力が映し出されたヴィンテージで、花崗岩土壌から生まれる透明感あふれるピュアな味わいが魅力です。

【辛口/赤】 品種: ガルナッチャ 100% 標高: 850-1,000m Alc.14%

2022VT: 生産本数: 56,487 (750ml) 瓶詰: 2023 年 8 月 (D.O. ビノス・デ・マドリッド)

2023VT: 生産本数: 40,943 本 (750ml)、500 本 (1.5L) 瓶詰: 2024 年 8 月 (D.O.P. セブレロス)

2024VT: 生産本数: 22,678 本 (750ml)、246 本 (1.5L) 瓶詰: 2025 年 8 月 (D.O.P. セブレロス)



担当: @millesimes.co.jp

株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801

Fax.03-3295-5619

Millésimes

2022VT★ワイン・アドヴォケイト 94 点:2022 年ラ・ブルハに変更があった。もはやロサス・デ・プエルト・レアル産のヴィラージュワインではなく、リージョナルワインとなった。2023 年もリージョナルワインだが、アピラ産(アペラシオン・セブレロス)となる。瑞々しさを湛えた香り高いガルナチャで、まさにコマンド・G のスタイルを体現したワイン。
よく熟している、2020 年のスタイルにより近い。ミディアムボディ。熟度が高く、花崗岩由来の繊細な質感を伴う爽やかなフィニッシュが印象的。この年はマセレーションを控えめにし、果皮の量を少なめにして発酵させた。とても親しみやすい果実主体の表現力豊かなブルハは、モルゴンのワインを彷彿とさせる。《飲み頃:2024-2029 年 | 2023/12/8 掲載》

2023VT★ワイン・アドヴォケイト 95 点:2023 年のラ・ブルハは、マドリド産ではなく、100%セブレロス産となった。そのため、生産本数が減り、2024 年はさらに少ない。このワインは、2021 年を肉付き良くしたよりジューシーな味わいで、還元的ではないものの、石を思わせるニュアンスがあり、繊細なストラクチャーを備えている。よく熟した味わいで、香りと味わいが徐々に開いていき、花や赤果実、ハーブのクリーンなアロマが広がっていく。見事なフレッシュ感と酸を備え、バランスの良いエレガントなワインに仕上がっている。
《飲み頃:2024-2032 年 | 2024/11/22 掲載》

2023VT★ジェームス・サックリング 93 点:赤果実や鉄の香りに焼いたグレープフルーツ、燻したハーブのニュアンスが香る。しっかりとしたミディアムボディで、チョーキーなタンニンがあり、ハーブやレッド・ベリーの風味を持つ。非常に親しみやすい味わい。今が飲み頃。
《2024/9/30 掲載》 2023VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター 90 点

2024VT★ワイン・アドヴォケイト 94 点:2024 年のラ・ブルハには、エル・ティエンプロを含む新しい畑のブドウが使用されている。というのも、この年は霜害の影響を受け、主力となる区画の収穫量が 9,000kg にしか届かなかったからだ(例年は最大 30,000kg)。2023 年よりも果実味に溢れ、丸みがありジューシーだが、スマレや野生のハーブを思わせる可憐なアロマは健在。繊細な口当たりで、チョーキーなタンニンを持つ。アルコール度数は 14%ながら、見事なフレッシュ感とバランスを備えている。《飲み頃:2025-2031 年 | 2025/12/12 掲載》

2023 Villanueva

ビリャヌエバ

上代価格 ¥10,000 (税抜)

JAN コード: 4543190306133

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ビリャヌエバ(アピラ/D.O.P. セブレロス)
標高:1,000m 生産本数:3,972 本 2024 年 8 月瓶詰 Alc.13.5%

★ワイン・アドヴォケイト 96 点:非常に素晴らしい出来栄え。芳醇なアロマを持ち、フローラルなニュアンスにミネラルを感じられる複雑でエレガントな完成度の高いワイン。長い余韻が印象的。シャンボール・ミュージーの赤を彷彿とさせるノーズ。瓶詰めまで亜硫酸塩未使用で、緻密さと個性的なスタイルがバランス良くまとまっている。スイカやローズヒップ、ハイビスカスを思わせる繊細なアロマとともに濡れた花崗岩のような力強いミネラルを感じる。焦点の定まったエネルギーを持つ。非常にコストパフォーマンスの高いワインと言えるだろう。《飲み頃:2024-2036 年 | 2024/11/22 掲載》



★ジェームス・サックリング 95 点:非常に繊細で優美なアロマを持ち、植物や朝鮮人参、スモーク、アガベ(リュウゼツラン属)、エルダーベリー(セイヨウニワトコの実)、チョーク、ブラッドオレンジのニュアンスが香る。口当たりは、まるやかでしなやか。繊細な柑橘の風味にハーブやベリーのニュアンスが溶け合う。ややチョーキーなタンニンを備えた非常に洗練された味わい。淡い色合いの優美なワインで、抗いがたい魅力を放つ。今から美味しく味わえる。《2024/9/30 掲載》

2020・2021 Rozas 1er Cru

ロサス プルミエークリュ

上代価格 ¥13,000 (税抜)

JAN コード: 4543190306157

2022 年からヴィラージュワインに変更になる前の希少なプルミエークリュ。
最良区画のみで造られる上質な味わい。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 産地:畑:ロサス・デ・プエルト・レアル村(D.O.ピノス・デ・マドリッド) Alc.14%前後 2020VT :生産本数:13,186 本 2022 年 1 月瓶詰
2021VT :生産本数:14,761 本 2023 年 2 月瓶詰

2020VT★ワイン・アドヴォケイト 95 点:2020 年ロサス・プルミエークリュには、暖かい年(2019 年、2017 年、2022 年)にはブレンドされない畑のブドウが使用されている。冷涼な年(2021 年、2020 年)にはこの畑のブドウがブレンドされる。COVID-19 の影響を受け、2020 年はイベントや出張がなかったため、彼らは、これまで以上に畑仕事に専念することができた。バラの花びらを思わせるフローラルなニュアンスと花崗岩由来の厳格な味わいが見事な調和をみせる。収穫直前の数日間、気温が上昇したため、2018 年や 2016 年よりもややふよかな仕上がりが。ロサス地区特有のシルトや鉄を思わせるテクスチャーがワインをしっかり引き締めている。《飲み頃:2023-2032 年 | 2023/7/1 掲載》



2020VT★ジェームス・サックリング 95 点フレッシュで軽やかな赤果実のアロマに心地よいハーブが香る。ホワイトペッパーやワイルドストロベリー、ジビエ、リコリスのニュアンスも漂う。口に含むと、グレープフルーツの皮やザクロを思わせるキレのある鮮やかな酸が広がる。タンニンはしっかりしているが、非常にシルキーで生き生きとした質感を備えていて、とても親しみやすい。今が飲み頃。《2022/10/14 掲載》
2020VT 他誌評価:★ギア・ペニン 92 点

2021VT★ワイン・アドヴォケイト 95 点:ロサス・プルミエークリュは 2021 年が最後のヴィンテージで、2022 年から変更になる。この赤には、ロサス・デ・プエルト・レアル村のリュウ・ディ(小区画)にある、これまでと同じ区画のブドウが使用されているが、この年は冷涼なヴィンテージとなった。全房発酵でマセラシオンは長めに行い、優しく抽出し、大容量のオーク樽で 1 年熟成させた。冷涼な年の特徴が表れたシリアスで厳格なワインに仕上がっている。ミネラル感のある引き締まったシャープな味わいながらも、最適な熟度に達したブドウを使用しているため、風味豊か。アルコール度数は 14 度。時間とともに、ローズを思わせるような肉っぽいニュアンスを帯びていく。タンニンは、非常にきめ細やかで洗練されていて、暖かい年よりも丸みがある。卓越したワイン。《飲み頃:2024-2032 年 | 2023/12/8 掲載》

2021VT★ジェームス・サックリング 95 点グレープフルーツやブラッドオレンジの爽やかなアロマに地中海エリアのハーブやホワイトペッパーが仄かに香る。花や仄かなワイルドベリーの芳醇なアロマがあるものの、非常に繊細。しっかりとしたチョーキーなタンニンを備えた味わいで、上質なベリーの風味が広がる。余韻は長く、非常に引き締まっているが、シリアス過ぎることはない。この上なく美しい。すでに抗えない魅力を放っているが、熟成ポテンシャルを秘めている。《2023/7/20 掲載》

担当: @millesimes.co.jp

株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801

Fax.03-3295-5619

Millésimes

2022 Peña La Mora 1er Cru

ペーニャ ラ モラ プルミエ クリュ

上代価格 ￥20,000 (税抜)

JANコード: 4543190305907

標高 1200mのエル・タンボリルの区画が生み出す果実の凝縮感とミネラルを備えた力強い味わい。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ペーニャ・ラ・モラ・プルミエ(ナパタルゴルド エル・タンボリルの区画/D.O.P. セブレロス) 標高:1,200m 栽培面積: 1.17ha 土壌:花崗岩 生産本数 4,239 本
2024 年 5 月瓶詰 Alc.14.5%

★ジェームス・サックリング 96 点: グレープフルーツやミネラル、ベリーのアロマに心地よいペッパーのニュアンスが香る、快活でやや華やかなスタイル。コマンド G の他のクリュのよりも深みのある色合いで、エル・タンボリルの赤に近い。肉付きの良い贅沢感のある洗練された味わいで、瑞々しい後味にミネラル感やしっかりとしたタンニン、チョーキータを感じる。ピュアでききりとした余韻がどこまでも続く。今飲んででも熟成させても美味しく味わえる。《2024/9/30 掲載》

★ワイン・アドヴォケイト 95 点:エル・タンボリルにあるため、いくつか類似点があり、凝縮感、肉のようなニュアンス、酵母、赤いチェリーの風味を持つ。ナパタルゴルド村は粗目の、ややイタリア的なタンニンを備え、2022 年にははまれだがフレッシュ感がある。力強いワインではあるが、標高が高く冷涼なため、その特徴がワインにも表れている。グラスの中で開くまで時間が必要だ。
《飲み頃:2025-2033 年 | 2024/11/22 掲載》



2019・2022 La Breña

ラブレニャ

上代価格 ￥30,000 (税抜)

JANコード: 4543190306058

花崗岩由来の極め細やかなタンニンとフィネスが際立つ味わい。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:ラ・ブレニャ(D.O.P. セブレロス) 標高:1,050m Alc.14.5%
2019VT:生産本数:1,579 本 2021 年 6 月瓶詰 2022VT:生産本数:934 本 2024 年 5 月瓶詰

2019VT★ワイン・アドヴォケイト 95 点: 洗練されたスタイルを持つブレニャはでウンブリアス(コマンド G 所有の単一畑のワイン)を彷彿とさせる繊細なアロマが感じられる。収穫は、10 月 2 日と遅く、この年は、畑の特徴やこのヴィンテージ特有のタニックなスタイルを生かすため、オークの大樽のみを使用し、より長い期間熟成させた。アルコール度数は 15%で、円熟した果実味があり、花崗岩由来の細やかなタンニンが豊かに感じられる。
《飲み頃:2022-2028 年 | 2021/11/12 掲載》



2019VT★ジェームス・サックリング 95 点: 苺むしたマルベリー(桑の実)や、野イチゴ、森の下草、ホワイトペッパー、繊細なハーブのアロマにジビエや湿った土のニュアンスが仄かに香る。自然のベリーの豊かな風味を湛えた艶やかで柔らかな味わいに繊細かつチョーキーなタンニンを感じる。非常に緻密で軽やかながらも、しっかりとした存在感を放つ。《2022/10/14 掲載》

2022VT★ワイン・アドヴォケイト 97 点: シングルヴィンヤードの 2022 年ラ・ブレニャは、ラ・ブレニャ・プルミエ・クリュよりも繊細かつ芳醇で、エレガントさが際立つ。こちらのほうがフィネス、緻密さにおいて優れており、しなやかな骨格を持つ。ブドウが栽培されている 0.25ha の区画は、このリュエーディの他の場所とは異なる土壌を持つ。標高 1,050mに位置し、風化した砂質の花崗岩土壌から成り、彼らが所有するシングルヴィンヤード、ルンボ・アル・ノルテからかなり近い場所にある。ビジャヌエバ・デ・アビラ産のワインに見られるような完成度の高い仕上がりで、エレガントさやフローラルなニュアンスを備えながらも、シリアスでミネラル感もあり、きめ細やかなタンニンを伴う引き締まった味わいが印象的だ。
《飲み頃:2024-2035 年 | 2024/11/22 掲載》

2020 La Breña 1er Cru

ラブレニャ プルミエ クリュ

上代価格 ￥30,000 (税抜)

JANコード: 4543190305235

ラ・ブレニャ・プルミエ・クリュには、グラン・クリュ用のブドウが栽培される「ルンボ・アル・ノルテ」、「ラブレニャ」の区画の他、数区画のブドウのブレンドされています。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ100%(有機・ビオディナミ栽培) 畑:ルンボ・アル・ノルテ(樹齢60年の若い樹)、ラ・ブレニャの区画、近隣の数区画 標高約 1,100m 栽培面積:1ha 土壌:花崗岩
生産本数:3,826 本(750ml)、2022 年 3 月瓶詰 Alc.13.5%

★ワイン・アドヴォケイト 96 点:コマンド G でプルミエ・クリュに位置づけられるこのワインは、ルンボ・アル・ノルテのレベルには及ばないものの、フィネスと複雑性が増している。2020 年は、コンクリートタンクで熟成。非常にきめ細やかなチョークや花崗岩を思わせるミネラル感を持つ。《飲み頃:2023-2030 年 | 2023/6/1 掲載》



2022 Las Iruelas

ラス イルエラス

上代価格 ￥33,000 (税抜)

JAN コード: 4543190306140

標高 1000m以上の区画の樹齢の高いガルナッチャから造られるラス・イルエラスは、北ローズを彷彿とさせる魅惑的な花のアロマを持ち、繊細な果実味とミネラル感を持ちます。
ダニエル・ゴメス・ヒメネス・ランディの個人プロジェクトの終了に伴い、2020 年より、コマンド G のラベルでリリースされています。

【辛口/赤】 品種:ガルナッチャ 100% 畑:エル・ティエンブロ (D.O.P. セブレロス) 標高約 1,000m
土壌:粘板、花崗岩、砂、石英、シルト 栽培面積:1.2ha 醸造:50%はオーク大樽で、残りの 50%はコンクリートタンクで熟成 生産本数:4,522 本(750ml) Alc.15%



2020VT★ワイン・アドヴォケイト 98 点:エル・レベントンと同じく、エル・ティエンブロにある粘板岩土壌の同じ畑から、まったく同じ方法で造られたワインで、50%はオーク大樽で、残りの 50%はコンクリートタンクで熟成している。2016 年から、この畑では収穫は 3 回行っている。というのも 3 つのテロワールがそれぞれ全く異なる個性を備えているからだ。それ以来、このワインには正確さや繊細さ、フィネスが感じられ、地中海気候と大西洋気候の特徴がより顕著に表れるようになった。花々、ハーブ、ハチミツ、樹脂を思わせる香りに加えて、躍動感やグリップ、深み、複雑性を備えている。2020 ラス・イルエラスは、最も素晴らしいヴィンテージの一つで、最良畑の一つとして、徐々にその存在感を表し始めた。《飲み頃:2023-2033 年 | 2023/6/1掲載》

2020VT★ジェームス・サックリング 97 点:地中海産のドライハーブやローズマリー、タイム、ドライオレンジ、ワイルドラズベリー、ホワイトペッパーの香りを湛えたスパイシーで、風味豊かなワイン。ピリッとしたほろ苦いハーブのニュアンスがあり、ドライハーブや柑橘類の風味にパウダリーなタンニンが溶け込んでいる。上質なハーブの苦味が、このワインをユニークで個性的なものにしている。今飲んでも、熟成させても美味しく味わえるだろう。《2023/7/20 掲載》